

On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.24

オン・エア 2014

市民が創る
むさしのFM78.2MHz
広報紙

住みたい街No.1の吉祥寺に定住し早40年余。
子育ても終り、日々変わりゆく街並を楽しんでいます。

次世代を歩む孫たちの手をひき、
武蔵野の恵まれた環境の中で
見守っていきたいと思います。

島本 孝枝・平子 春代
(本町・東北物産館)

井の頭公園の
七井橋から見る大きな
しだれ柳。

どの樹木より早く芽吹いて、
わが街に春の訪れを告げてくれる。
この冬ことのほか寒かったので、
その萌色が嬉しかった。

神山 征二郎
(井の頭・映画監督)

深い緑のなかに
小鳥がさえざる散歩道。
わけても中央公園から
玉川上水沿いに出る小径は、
静かで水場もベンチもあり、
歌を歌いながら
よく歩きます。

田沼 祥子 86歳
(北町・編集者)

私の とっておきの 武蔵野

朝鮮市場、焼き肉の煙、
うごめく人々…、大阪での25年。
そして中央公園、文化的な空気、やわらかな人々…、
25年武蔵野で生きてきたことが合わさって今がある。
それはきっと特別なこと。

金 聖雄 (関前・映画監督)

井の頭文化園です。とくに入口から入って
左手奥は、人も少なく静かで、整備された
森がとても落ちつきます。

水生物園(分園)の背の高い木の間を
歩くのも好き。

久住 昌之 (吉祥寺・漫画家)

動物たちの気ままに
任せて、のんびりと観察する
動物園での時間。
一番しつくり来る生活リズム。
日常の用なら徒歩と自転車
で足りる武蔵野市界隈は、
まさに理想のすみかです。

森 由民
(境・動物園ライター)

目次

特集

「発信!わがまち・武蔵野人」放送600回突破!記念
東日本大震災&フクシマ
被災と支援活動の話題で出演された
ゲストどうしを繋げたい p. 2~3

研修バスツアー p. 3
「むさしのtoday」2013.4/1~2014.3/31..p. 4~5
「発信!わがまち・武蔵野人」2013.4/19~2014.4/25.. p. 6~7
「フクシマを思うシリーズ」報告 p. 8
防災訓練特番レポート p. 8

特集 東日本大震災 & フクシマ ◆被災と支援活動の話題で出演されたゲストどうしを繋げたい

丸3年すぎた現在こそ
きちんと向きあおう!

◇2014年3月15日(土) 午後2:00~4:30 中央コミセン会議室

「発信!わがまち・武蔵野人」放送600回突破!記念の会

出席 武蔵野人ゲスト、市報告知から一般市民、週刊きちょうじ
武蔵野三鷹ケーブルTV・むさしのFM、当会運営委員

主催:むさしのFM市民の会 後援:教育委員会・むさしのFM



2011.3/11(金)武蔵野商工会館1Fサテライト(当時)、第478回公開生放送が14:40終了、ゲストもスタッフも緊張がとけ、和やかに5分ほど過ごしたとき、あの初めて体験する大きく長い揺れに襲われた。天井の照明が大きく揺さぶられ、デスク下に潜った人もいた。「出口確保!」自動ドアを開け放つ。向いの銀行の看板も落ちそうな大揺れがいつまでも収まらず不安が増す・・・それでもやや落ち着くとFMスタッフはヘルメットをかぶり、街へ取材に飛び出して行った。

当日の番組ゲストはドキュメンタリー映画監督の早川由美子さん。奇しくも話題は、日野市高幡台団地で、耐震強度不足を楯に取壊しを決め、住民に立退きを迫るUR都市再生機構(旧公団)と、終の住処からどうしても引越したくない数家族との攻防を追った「さようならUR」。大きな揺れに、その団地は大丈夫かと頭をよ

ぎったが、幸か不幸か(URIにとっては!?)無事であった。しかしまもなく、同様に国策で推進されてきた「東京電力福島第一原発」の甚大な爆発事故発生、故郷を否応なく追われる膨大な数の家族を生み出してしまうこととなった。TVでは事実として受留め難い大津波の映像。自然の猛威に加えて人災、断切られた命・故郷・家族・コミュニティ、国策の功罪、私たちはこの日を共にしたことで、決して忘れるな、考え行動せよと告げられたように感じている。

番組ではその後、被災された方・復興支援に取組む方々20人(組)以上に出演頂き、大変な状況の中でも貴重な体験を伝えて下さった。番組がめざす「ゲスト・FM・当会の緩やかな繋がり」を更に広げ、同じ志の方どうしを紹介し情報交換と今後の連携に繋がればと、交流のときを企画した。

◆小島 力氏

原発事故により福島県から緑町都営住宅に避難移住3年79歳。詩人。葛尾村原発賠償集団申立推進会代表。10代より詩作活動。郵便局勤務の20代から原発建設反対運動に携わり、「日音協」で音楽活動も。30年前の衝撃的作品も収めた詩集「わが涙滂々〜原発にふるさとを追われて」出版(2013.5)13.3/6番組出演



写真 ©週刊きちょうじ

◆大石 芳野氏

御殿山在住。沖縄・広島・ベトナム・コソボ・アフガン・チェルノブイリなど極限の人々を取材し続けている世界的フォトジャーナリスト。土門拳賞・エイボン女性大賞・紫綬褒章ほか。写真集・著書多数。原発事故後は福島に毎月通い、見えない放射性物質と人々の苦悩を取材。写真集「福島 FUKUSHIMA・土と生きる」出版(2013.1)13.2/13番組出演



第1部 フクシマ対談

小島:車がボンボン飛び跳ねるような縦揺れ、それほど酷い揺れと、TVに延々と映る大津波の映像を見続けても、原発に思いが及ばなかったのは、悔しいが何故だか分らない。40年も前から原発建設反対運動をしていたのに。このことはずっと自分へ問いかけなければならない。(☆詩集の冒頭の詩に、その痛みが滲む)東京の子供たちが避難を勧め多摩地区を希望し武蔵野市に移住、地域の皆さんに大変お世話になっている。詩集は実行委員会を作って頂き出版記念会も。著者分1000冊が2ヶ月で完売し出版界で大変驚かれた。

なり送ってやることもできなくなり、キノコによる人間関係、そこにまつわる全てが断切れた。これが故郷を奪われたということ。戦争中、小学3年で生れ育った世田谷区上北沢から疎開し住んでいたのに、再び同じように故郷を奪われ、原発と戦争は自分にとって一直線に結びついている。

大石:重い話。3年経った今年3/11現在、福島の新聞によると犠牲者数は直接死1603人、207人不明に対し、震災関連死は自殺含め1671人と上回った。県内外避難者136400人、補償を受けパチンコ三昧や酒浸りで遊んで暮らせるなどと言われたりしているが、否応なく生業を奪われることを想像すれば、関連死した何倍もの人が今もギリギリの状態です。★写真集「福島 土と生きる」から抜粋スライド。大石:タイトルは、生命の原点である土が汚染されたということ。福島の農作物・酪農製品は都会も無関係でない。放射能汚染濃度の高いところを取材撮影。/飯館村の田んぼ、一生懸命やってきたのになぜこんなことにと嘆く女性。家族崩壊という大きな問題も/立入禁止の20Km圏内に配置された警官は若く、それが国のやることであり今も変わっていない。/運送会社やお菓子の名前にも最先端の「原子力」がついていた。/病院の庭に置き去りのたぐさんのベッド、慌ただしい緊急避難が分る。院内に残された3人と避難先で50人が3月中に死亡。/6号線で出会ったダチョウ。高村光太郎の詩のように本当に悲しい目。放れ牛、餓死した牛、

被爆しても懸命に生きる牛たち、搾乳した原乳を廃棄。将来もここで酪農を再開したい。/東電から補償をもらっているから牛は処分しても良いとは考えていない、命を預かっている誇りを感じた。/広島で被爆し再び被爆した方。原爆と原発は別だと思っていたが認識不足だった。/将来病気になるか不安な小学生、結婚出産がとても心配という女子高校生。/作付け禁止の中で収穫した米1tを埋めるも、農民の意地で再開に期待する合鴨農家。/原発さえなければ、と壁板に遺し自殺した酪農家男性を偲ぶ姉の悔しさ。



★破壊された風景、人々の現実と筆者キャプションが胸を打つ。それでも美しい自然、希望を見つめ力強い若者たちの姿も収めた「福島土と生きる」、詩集「わが涙滂々」とも武蔵野市立図書館収蔵。東北物産館でも取扱中!

大石:補償・被災者の現状は? 小島:3/8~9葛尾村探訪ツアーは「わが涙滂々」が書かれた現地を見て学び今後の活動に活かそうという目的で、50人募集が10日で満員!自家用車と練馬区からマイクロバスも出て80人規模になった。金子あいさんの詩の朗読、日音協の歌と演奏も良かったが、何より仮設に暮らす現地被災者との真剣な話合いが素晴らしい、バス会社・旅館・交流会場の担当者も感

動していた。東電からの補償は一人1ヶ月10万円、5人家族なら50万円、これは失われた故郷・人間関係・将来設計などに対する精神的賠償金であり、生活費や遊興費として使うべきものではないが、そうせざるを得ないほど被災者は逼迫していることを理解して頂きたいと思う。東電が加害者であるのに、被災者はその支配下に置かれている!個人賠償請求は東電から50ページもの書類に記入を求められる。あえて交通事故の場合と比較してもおかしいことが分る。こんなことは許せないと思いつつ「葛尾村原発賠償集団申立推進会」を立ち上げ組織として交渉開始。弁護士を立て第三者機関が入ることが重要、東電の土俵で一人で戦わず、集団で被災者側の枠組みで戦う。時間はかかるが、人により異なる状況で不利益が出ないよう皆で支え合い戦うことを確認、頑張っていく。

★参考資料「推進会報第11号」(2014.3.1発行)配付。『東京電力』福島第一原発ということ私たち都民は決して忘れてはいけない。

第2部 各ゲストの活動紹介・交流

◆「東北物産館」:
島本孝枝さん・平子春代さん
★休憩に東北のお菓子試食!サンプルご提供感謝!



東日本大震災後、福島県出身の荒井伸吉理事が立上げたアンテナショップ。東北特産品を購入することで継続的経済支援をめざす。「フクシマを思う」チャリティ出店も。商品で還元する賛助会員制度(1口¥3000)。サンロードSEIYU向いりベスト2F(11:30~18:00)

◆「日赤奉仕団」: 栖雲勅子さん

震災直後から市内3駅に立ち義援金活動、多額の協力を頂いた。6月陸前高田視察、現地社協と懇談し夏の必需品を伺う他、バス4台いわき訪問。何かできるか悩んだが、被災者皆さんの話がしたいという思いが強いとのことで、11月バス1台泊で双葉町を訪ね武蔵野市の特産品や野菜で仮設住宅の方々100人と昼食会。土が汚染され農作業ができなくなった農家、避難所から仮設を転々とした方の実情を伺った。夏暑く隣の部屋の声も筒抜けの仮設住宅を見て、今頃さぞ寒いだろうと。富岡町では津波で車が突っ込んだままの駅舎、盗難で荒らされたまま放置されている家も。忘れる事の無いよう、今日の催しだけでなく武蔵野市民に一人でも多く

伝えていく機会を。訪問は却って対応に手を煩わせて申し訳ないが、現地産品を購入して帰るのも支援と思い今後も企画したい。個人的にも出かけて頂きたい。義援金箱もまだ設置しているのでぜひご協力を!義援金は事務局運営などには1円も流用せず、正しく使われていることをあらためて伝えたい。

◆ドキュメンタリー映画監督: 早川由美子さん

2011.3.11番組出演。地震に関わる話題だったこと、帰宅困難者にもなり、忘れられない日となった。当日スタジオの様子も撮影。http://youtu.be/-6RpBX5QTT4 それまでは原発反対運動など行動していなかったが、以後は被災者の取材も重ねDVDにまとめた。その中で、小島さんの話にもあったが、補償金を貰ってお酒を飲んでいることを妬むような、被害にあった人々をおとなしくさせる市民の目的のいやらしさを感じた。動画「木田さんと原発」は原発近くに自宅新築、原発関連企業で働く息子や夫との関係変化を追う。この国はおかしいと気づいた木田さんが主婦を捨て外に出て声を上げ始めるまでの過程が清々しい!東電を信じ切っていた息子が最後は「東電バカヤロウ」と。衆参院選で原発がもっと争点になって欲しいと、急いで完成させた。住宅問題テーマ最新作「乙女ハウス」完成。



◆俳優: 金子あいさん



「フクシマを思う」チャリティライブ開催3年11回応援感謝!皆と一緒に創るイベントに育っている手応えを感じる。3・11当日午前の番組「ハッピーうーたん」放送後、打合せで中道通にいたら大揺れ!同僚の寺内アナがすぐ緊急情報入手「震源地は宮城県沖」と叫ぶ。町の様子をFMに報告直後から、TVで大津波に人も飲込まれるリアルな映像も流れ驚愕。アーティストの非力さを感じたが、福島の詩人 和合亮一さんがツイッターで発信し続ける「詩の礫」の言葉の力に打たれ、これを伝えるのが自分の役目と思い「フクシマを思う」を企画。朗読に相応しい詩を探し続け、小島さんの詩に出会った。読むと情景が広がり一人芝居のように表現できる。多くの避難所や仮設で朗読・演奏してきたことが財産になり、困らずこの3年で自分は成長させてもらった。3/8-9ツアー懇親会は葛尾村から17名参加、畜産農家の方が涙ながらに、牛たちを餓死させるまでの苦悩・悔しさを話し、人間が作ったシステムの欠陥を訴え、政治家には任せられない、市民がもっと声を上げ関わ

て治して欲しいと言われた。吉祥寺で詩を読むことはささやかだが、心を寄せる人々が集うことが大きな力に繋がる1歩と思いこれからも頑張りたい。★「わが涙滂々」より「草茫々」朗読。

◆「クローバープロジェクト」: 中原香織さん (所用で途中退席、案内物配付)

被災地に音楽を届け交流、現地の皆さんのことをいろいろな形で吉祥寺に伝える復興応援。これまでに募金活動、宮城県東松島市と吉祥寺チャリティコンサート2回、宮城仮設住宅4カ所無料でライブ、今年3/11アトレで「仮設住宅のお母さん応援!Tシャツ・ハギレ布募集」音楽トークライブ、3/22~石巻市のイベント参加、7/27(日)第3回チャリティコンサート(スターパインズカフェ)、活動資金目的オリジナル手ぬぐい販売。

★参加者からは「真実を伝えて欲しい。言うべきことは声を上げる勇気を持たなければ!」の発言も。山林がほとんどの福島では除染は無駄に近いことが解り、増え続ける汚染水タンクも事故続き、廃炉も放射性廃棄物処理も混乱、子供の健康被害も確認され始めた現在、原発再稼働方針は私たちの理解を超える。自然や人命より経済という欲が優先か? エネルギー政策方向転換チャンスなのに、巨大原子力村の構造は壊せないのか? 他国にも原発輸出などは罪悪では? 燃料サイクル見通しなく核のゴミが溜まる一方で海外からも懸念が聞こえてくる。どうも方向が違っていると感じている人は多いのに、なぜ政治は市民を蔑ろにするように加速するのか? 昨夏、私は気仙沼~三陸高田でトラック大渋滞に遭遇。美しい三陸海岸に建設中の防潮堤も見て、莫大な復興予算が殆ど瓦礫処理とコンクリートに費やされるのを実感。立並ぶ仮設住宅から早く復興住宅建設を!景観を壊す防潮堤より高台へ逃げる道路整備を!真に市民の要望に叶う復興の加速こそ願いたい。日本人は熱しやすく忘れやすく流れやすく、さらにスピード効率偏重で物事の本質を熟考せず、そして騙されやすくなったのか。私たちは一層メディアリテラシーを心がけ、考えることをやめてはいけない。科学技術がこれ以上、人の心に暗闇をもたらすのではあまりに悲しい。「文明は文化を駆逐する」という言葉が再び頭をよぎる。しかし人類の歴史で、大きな不幸の中から必ず素晴らしい芸術や文学が生れてきたように、この3年間にたくさんの方が咲いたことに感動している。背景と教訓も忘れず正しく後世の人の心に伝わることを祈ろう。(記:松岡裕子)

☆研修バスツアー 11/6(水) FM太郎・金山城跡ガイダンス施設・明電舎

会員25名・中型バスで群馬県太田市へ。開局15周年・可聴地域26万人・おたコミュニティ放送「FM太郎」訪問交流。武蔵野から疎開発展した富士重工で働くブラジル人向けポルトガル語生活情報番組が大きな特徴、生活習慣・サンバ祭・サッカーW杯優勝パレードのマナー指導でも貢献。福祉会館から太田駅舎新築時に移転しコンコースにサテライト観覧席、スタジオ3室もゆったり。地域に頼られている自負、イベント時アンケート手配り、交流も大切に。コンセプト①おとなりラジオ②市民みんなのラジオ③いざというとき頼りになるラジオ④国際色豊かなラジオ。市と災害対策本部と協定、緊急時は市役所から放送、12F屋上から電波送信。市民に番組枠とスタジオを提供、ボランティア80名が夜間に自主制作、放送禁止用語など指導。市が高齢者全員に災害緊急用「FM TARO」特定ラジオ無料配付(一般販売@1500)、サンプル1台頂き遠藤総務に感謝!ダニエルハウス(三セク地ビール醸造レストラン)昼食後、新田一族緑の難攻不落を誇った「金山城跡ガイダンス」施設(隈研吾デザイン)、主に自動車動力計測機など開発製造「明電舎」太田工場見学。風力発電機や被災地で活躍した移動電源車など、技術者に案内頂き使命感が伝わった。



▲金山城跡ガイダンスにて

「むさしの today」 あなたの町の情報を市民が自宅から毎日発信

月～金(午前9:20～9:30) 13年4／1～14年3／31放送の話題(4120回～4378回)
再放送：当日 19：00～、1週間分日曜日 17：00～

「桜、ウォッチング」原利子(東)「最近の結婚式事情」島津好江(関)「南町福祉の会、丁目ごと活動の取り組み」吉岡諒子(南)「市主催の桜祭りに参加して」内海京子(緑)「大岡昇平と野川について」岡野正隆(西)

「八幡町コミセン小鳥のオアシス除幕式・千川地域防災ネットワーク発会式」渡辺卓治(八)「中央コミセンは桜祭りに子供向けプランを作成」和久田純子(御)「輪投げて遊ぼう、グループホームで大うけ」古野辰哉(本)「境南地区の小・中学入学式模様」川鍋和代(境南)「むさしの桜祭りのゴミ問題」新垣俊彦(西)

「第3次武蔵野市地域福祉活動計画でできる」栞雲勃子(八)「電気代600円で生活出来たのイベント」小境範子(関)「一杯のコーヒーはどこで飲みますか？」藤川千草(本)「春だからファゴットを楽しもう」鎌内啓子(北)「家と向き合う時」高橋洋子(東)

「ゆとりえバザー開催」小餅友子(南)「シルバー人材センターに入会して」皆藤弥峰(中)「健康づくり支援センター、食事診断」博田美智(北)「日本には大陸の気象と国際関係の影響か、寒さの停滞はもうご免」鹿子木孝男(桜)「小学生対象にセーフティパークを実施」小林良太(境)

「大野田防災が“隣組”の認定を受ける」寺島美美子(北)「春の催し、舞踏会での懐かしい音楽と野菜の苗を植える」赤松不二子(関)「ボランティアを楽しもう」田中雅文(境)「東町の下水貯留槽を見学」原利子(東)「吉祥寺音楽祭を歩く」小餅友子(南)

「第1小、140周年を迎える」金子恵一(中)「南町フリーマーケット開催」三浦恵美子(東)「人恋うる歌、明治10年」古野辰哉(本)「連休中、初夏を楽しむ」川鍋和代(境南)「はけの道を歩く」岡野正隆(西)

☆**防犯特集週間**――
「子ども見守り、ぶじかえる活動」黒木智春(南)「吉祥寺大正通り商店会の紹介と防犯の取り組み」土平哲生(本)「あなたも狙われている、ご用心！」島津好江(関)「関前・八幡町支部の活動」榎本敏和(八)「現在、市内の犯罪事情と防犯対策」滝沢智浩(中)

「おとばサロン　初参加」高橋洋子(東)「今年、市内人口が14万人超との報道、全国では何番目？」鹿子木孝男(桜)「江戸を歩く」鎌内啓子(北)「落語、むさしの若葉寄席」内海京子(緑)「水防訓練に参加」渋谷祐二(境南)

「被災地の千葉県旭市の見学」島森和子(北)「千川小地区で地域防災会」渡辺卓治(八)「市内散歩」皆藤弥峰(中)「春の公園まつり、12年目を迎えて」赤松不二子(関)「小島力さんの出版記念パーティ」鎌内啓子(北)

「お父さんお帰りなさいパーティ開催」井波信一(緑)「信州川上村のハイキングコースで骨折、只今リハビリ中」星野高明(東)「動物園ライター、キリンの本を出版」森由民(境)「どじょうつかみ大会、夕焼け橋で」小餅友子(南)「歴史と技術を辿る市内散歩、NTT技術資料館・市役所防災センター見学」君島陽子(中)

「千川地区防災会発足」渡辺卓治(八)「吉西コミセンで地域懇談会」松田正恵(本)「井の頭通り歩道ガードレール下に植栽」藤川千草(本)「地域安全活動推進委員の活動」川鍋和代(境南)「中央コミセンまつり、35周年特別なイベント」平田由美子(北)

「むさしの史談会」島津好江(関)「日赤の研修、佐久五稜郭跡」栞雲勃子(八)「フクシマを思う”シリーズ9」鎌内啓子(北)「武蔵野市観光ガイドコースを受講して」岡野正隆(西)「武蔵野三中　同窓会から新たな絆を」高橋洋子(東)

「けやきコミセン事業“太宰治の足跡を歩く”」寺島美美子(北)「ビールの季節到来、場所は風が通る屋外が絶好」鹿子木孝男(桜)「若い力が炸裂！独歩の森の今」田中雅文(境)「私達の環境」赤松不二子(関)「マンションの防災を地域で聞きました」今村明美(御)

「映画”うまれる”上映会・講演会」真弓沙織(緑)「NPOシニアネット武蔵野良縁の会」博田美智(北)「動物園ライター、今日は都内から夏の動物園の話」森由民(境)「第1小夏祭り開催」松田正恵(本)「市民社協主催“七夕のつどい”映画とバザー」宮原勝子(境)

「日本初のムーバスがスタートした時の話を聴いて」島森和子(北)「戦争遺跡を記録する会で唯一残っている中島飛行機変電所の保存について」渡辺卓治(八)「小学校・施設に紙ヒコーキをプレゼント」古野辰哉(本)「はとバスで“スカイツリーと下町情緒の旅”」鎌内啓子(北)「千川寄席“家族で楽しむ落語の世界”開催」小出正彦(緑)

「“南町わんぱく相撲”7月場所開催」吉岡進(南)「防災訓練」川鍋和代(境南)「つばめが戻る」原利子(東)「お盆が済んでから七夕さま」島津好江(関)「我が家の野菜づくり」新垣俊彦(西)

「祝・週刊きちじょうじ　2000号」高橋洋子(東)「七夕のつどいに参加して」岡野正隆(西)「夏の子供たち、南町カーニバル・ラジオ体操」小餅友子(南)「7月のテーマは熱中症対応が中心課題、先日は自ら体験者に」鹿子木孝男(桜)「1丁目のパトロール隊の活動」佐藤崇子(境南)

「日赤病院の歴史について、映像と講演」栞雲勃子(八)「独歩の森でシルバ大活躍」田中雅文(境)「防災会研修に参加」赤松不二子(関)「朝日新聞“天声人語クラブ”地域活動として発足」土田萬里子(練馬区関)「1中防災会が立ち上がりました」和久田

純子(御)

「終戦記念日に際して非核都市平和委員会主催のパネル展示」島津好江(関)「“アジアを知るう”シリーズ、台湾編」星野高明(東)「隅田水族間前から」森由民(境)「わが町のルーツを探る会、今年度の活動計画」渡辺卓治(八)「第3回居酒屋クラシク開催」鎌内啓子(北)

「“市民と市長のタウンミーティング”」小餅友子(南)「島原の乱の跡をたずねて」岡野正隆(西)「小鳥と行水」古野辰哉(本)「納涼盆踊り大会」高橋洋子(東)「独歩の森の夏」田中雅文(境)

「膝の治療中」内海京子(緑)「ジャンボリーに参加」川鍋和代(境南)「おなじみサマーフェスティバル開催」小林良太(境)「市防災情報マップをみて自分の住む地域に当てはめ、施設所在位置の確認を」鹿子木孝男(桜)「防災の関わり、昔の事を忘れない」渋谷祐二(境南)

☆**防災特集週間**――
「9/1総合防災訓練に日赤奉仕団員として参加」栞雲勃子(八)「市内在住外国人の防災委員をしています」藤川千草(本)「1小地域防災訓練に参加」松田正恵(本)「花火大会など多くの人が集まる場所の防災は」赤松不二子(関)「1中地域防災会」今村明美(御)

「けやき塾の講演会」島森和子(北)「むーソーラ市民発電を」鎌内啓子(北)「横浜方面の動物園から、動物園ライター」森由民(境)「東部福祉の会フェスティバル」原利子(東)「八幡町物語を読んで」岡野正隆(西)

「我が家のゴーヤは収穫真っ盛り」星野高明(東)「敬老の集い」松田道子(本)「朝顔をみなおそう」古野辰哉(本)「国体の応援について」平田由美子(中)「転倒防止予防体操」博田美智(北)

「コミセンの夏」小餅友子(南)「千川地区地域防災会の訓練」渡辺卓治(八)「シルバスポーツ大会」佐藤崇子(境南)「大野田地区のジャンボリーの様子」寺島美美子(北)「風たちぬ・人生の応援歌シャンソン」高橋洋子(東)

「敬老の集いを終わって」栞雲勃子(八)「独歩の森に台風が来た、後始末は大変」田中雅文(境)「今年は京王電鉄100周年記念、多摩動物園駅の京王レールランド開発に注目」鹿子木孝男(桜)「彼岸話あれこれ」島津好江(関)「地域社協バス研修で朝霧高原に行きました」川鍋和代(境南)

「なつかしい歌とリズム・子供神輿」赤松不二子(関)「市民文化祭、マジックショー開催」金峯進一(八)「今日はどこ動物園ですか？」森由民(境)「吉西福祉の会主催防災まつり」松田正恵(本)「交通安全、第一」藤川千草(本)

「お父ばサロン、穏やかな最後について考えてみませんか」杉本博(南)「生きている内、頭を使い！」古野辰哉(本)「ルーツを探るトークサロンシリーズ」渡辺卓治(八)「南町コミセン文化祭」小餅友子(南)

「東京大学と本郷周辺の散策」岡野正隆(西)「和太鼓の演奏会に出演」伊藤さつき(八)「環境フエスタへ行こう」田中雅文(境)「青少協バス研修」川鍋和代(境南)「平成25年、住宅・土地統計調査」高橋洋子(東)

「文化祭落語会に出演」内海京子(緑)「認知症の方への声かけ講座」中村茂美(南)「障がい者ドライブクリエーション参加」栞雲勃子(八)「特養武蔵野館ハロウィーンパーティ」大脇修一(関)「フクシマを思うシリーズ10」鎌内啓子(北)

「吉祥寺南病院で手術3日前に」星野高明(東)「10月も下旬となれば、次第に空が澄み、遠景の富士が親しまれる季節」鹿子木孝男(桜)「けやきコミセンの事業、自転車講習会・けやき塾」島森和子(北)「中央コミセン35周年記念事業」皆藤弥峰(中)「文化祭・環境フエスタ」赤松不二子(関)

「南町フリーマーケット開催」黒木智春(南)「10月の2つのコンサート」吉松杉子(北)「動物園の前から」森由民(境)「子どもテンミリオン“あおば”12周年を迎える」松田正恵(本)「文化祭に参加して」高橋広代(境南)

「日赤奉仕団いわき市仮設住宅を訪問」栞雲勃子(八)「東町コミセン便りから宮本小路公園(仮称)エピソード」原利子(東)「元気な高齢者はボランティアを」古野辰哉(本)「武蔵野館で折り紙教室」梅田二巳子(関)「むーソーラーイベント“シェナウの想い”を上映」鎌内啓子(北)

「文化祭の季節、今年は地元で歌います」高橋洋子(東)「イタリア旅行で思ったこと」岡野正隆(西)「ルーツを探す会の取り組みの総集約」渡辺卓治(八)「貸し庭を見る」新垣俊彦(西)「江戸糸あやつり人形結城座公演“杜子春”」小餅友子(南)

「徐々に吉祥寺の街ウォッチング」星野高明(東)「比島の大台風災害と緊急援助の主体は、海上・陸上自衛隊合同の大型救援隊編成となる」鹿子木孝男(桜)「晩秋の独歩の森」田中雅文(境)「中央コミセンで餅つき大会」皆藤弥峰(中)「地域社協の丁目活動」川鍋和代(境南)

「紅葉の美しい古都、奈良へ古寺巡礼の旅」鎌内啓子(北)「我が家の隣の中央公園の初冬模様」三浦育代(八)「江戸川区自然動物園から」森由民(境)「小140周年記念行事」金子恵一(中)「各地の紅葉レポート“深大寺・立川昭和記念公園・上高

むさしO-FM78.2MHz

地”中川知子(境南)

「秋から冬にかけて色々な体験をする」赤松不二子(関)「“御門訴事件をめぐる”トークサロングストを呼び語り合う」渡辺卓治(八)「一日で上手になるペン字」古野辰哉(本)「お父さんお帰りなさいミニパーティ」井波信一(緑)「市内で行われたコンサートを聴いて」川鍋和代(境南)

「直木賞作家、桜木紫乃さんの作品について」岡野正隆(西)「災害時用援護者事業の支援者の会」栞雲勃子(八)「独歩の森森の様子」田中雅文(境)「今年を振り返って」小餅友子(南)「忘年会は時間旅行、そしてクリスマス」高橋洋子(東)

「今年最後の練習、ラフタイヨガ」小境範子(関)「1929年、生まれ、84歳から取り組むテーマは“橋”どんな展開に？」鹿子木孝男(桜)「1小焼きどんど焼きと日本の伝承遊び」皆藤弥峰(中)「トリム(船のバランス)体操」佐藤崇子(境南)「東町コミセンで今年の街の変化について語り合う」原利子(東)

「沖縄レンタカー旅行」星野高明(東)「地域ネットワーク会議」今村明美(御)「新成人・成人式を迎えて」大日向裕太郎(東)「新成人・成人式を迎えて」荒川なな(南)「初笑い、新春寄席開催」内海京子(緑)

「中央福祉の会、りんどうの会」皆藤弥峰(中)「大人でも楽しめる動物園」森由民(境)「人相・手相をちょっと習おう」古野辰哉(本)「新年を迎えて」川鍋和代(境南)「防災デー、災害ボランティア」千草豊(御)

「吉村昭の世界」岡野正隆(西)「南町わんぱく相撲1月場所開催」吉岡進(南)「新クリーンセンター現在の様子」島森和子(北)「たった一つの命だから朗読会」鈴木綾子(境南)「中島飛行場とゼロ戦」渡辺卓治(八)

「飛躍の午年スタートです」高橋洋子(東)「ソーラー視察で山梨県北杜市白州に行きました」鎌内啓子(北)「真冬の独歩の森」田中雅文(境)「子どもテンミリオンハウス“あおば”子育て支援講座」松田正恵(本)「おもちゃの病院」藤川千草(本)

「今年の2月ウオーグが昨年と同じ、横浜関連のテーマで始まるとは」鹿子木孝男(桜)「法曹会館・ゴミのリサイクル・冬野菜即売会」赤松不二子(関)「餅つき大会、他」原利子(東)「東京スカイツリー・そらまち見学」栞雲勃子(八)「平和事業実行委員会バス研修に参加、明治大学登戸研究所・慶応大学日吉キャンパス見学」小餅友子(南)

「初めての入院をして」島津好江(関)「大野田小でスチールバン演奏会開催」中澤祥子(北)「茶臼山の動物園から」森由民(境)「ようこそ南町へパー

むさしのFM市民の会だより

ティ)小餅友子(南)「シルバー人材、ふれあい訪問収集について」皆藤弥峰(中)

「“風立ちぬ”“永遠の0”を観て」渡辺卓治(八)「“東京物語”を観て」岡野正隆(西)「バス・電車に乗ったら、立っていきましょう」古野辰哉(本)「石屋さん・お蕎麦屋さんなど長年営業のお店が閉店」原利子(東)「Valentine2014カンツォーネとともに」高橋洋子(東)

「福祉の会“私の介護体験”伊藤栄子さん」吉岡諒子(南)「たった一つの命朗読会」鈴木綾子(境南)「シンポジウム“まちの中に森がある”」田中雅文(境)「ノルデックウオーキングってご存知ですか？」栞雲勃子(八)「地域行事“老い支度講座”に参加」川鍋和代(境南)

「稀な大雪が重なり、企画が2回中止、来月以降に続かない事を祈るばかり」鹿子木孝男(桜)「雪かきした後は塩をまきましよう」藤川千草(本)「築地市場を見学して」鎌内啓子(北)「3月のひな祭りのつどい、高齢者の方を対象」松田正恵(本)「よみがえった手賀沼、東京ガラス工場見学」赤松不二子(関)

「“フクシマを思う”シリーズ第11回」鎌内啓子(北)「講演会“めざせ元気に歩く100歳の私”」博田美智(北)「動物園から、動物園ライター」森由民(境)「陽和会病院でのリハビリ」島津好江(関)「気候変動と異常気象と地球温暖化」皆藤弥峰(中)

「御殿山2丁目、スプリングパーティー開催」今村明美(御)「第3小で初動訓練実施」吉岡諒子(南)「揮毫の本を出版」古野辰哉(本)「市民社協運営委員研修“助かる命を・助ける町づくり”講演会」川鍋和代(境南)「ルーツを探る会終了、これからはサークルに」渡辺卓治(八)

「現代里山ライフを楽しむ」田中雅文(境)「帰宅困難者訓練に参加」栞雲勃子(八)「東町コミセン運営委員会で討議した地域の問題」原利子(東)「24節気的美意識」高橋洋子(東)「ハウスシアター閉館に思う」岡野正隆(西)

「季節を告げる“ふくらむ蕾”と水ぬるむ川筋に親しまう」鹿子木孝男(桜)「次々完成する吉祥寺駅前のビル、北口のマナーポイントは廃止」藤川千草(本)「第1小吹奏楽ラストコンサートを聴く」岡本厚子(中)「フローラむさしの発表会」佐藤崇子(境南)「身近なところで音楽会」赤松不二子(関)

「スタンプラリーが終わりました」小餅友子(南)

**2014年4月より
当日夜7:00からも再放送!!**

＊出演予定者は、タウン情報紙「週刊きちじょうじ」の紙面およびホームページに掲載。

むさしO-FMでは、リスナーの皆様からの情報・メッセージをお待ちしています。FAX、e-mailでお寄せ下さい。TEL 0422-23-0782 FAX 0422-22-9090 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階

http://www.musashino-fm.co.jp 最新トピック・情報交換掲示板 e-mail info@musashino-fm.co.jp

むさしのFM市民の会企画 「発信! わがまち・武蔵野人」

コーディネイト番組 (祝☆600回突破) あなたのそばの武蔵野人が続々登場!

「前任の西達彦パーソナリティから引き継いで早1年。ゲストの皆さんが素晴らしい活動をされている素敵なたちばかりで、毎回お話を伺うのが楽しみです。これからも頑張ります!」(亀井薫パーソナリティ)

☆毎週金曜午後4:00~4:20公開生放送・土曜朝10:00~再放送

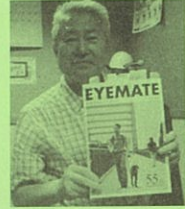
★インターネット同時配信!世界中で聴けます。

★放送後はHPポッドキャストでいつでもお楽しみ下さい。

ご観覧大歓迎、吉ブラのごついでにお気軽にお立ち寄り下さい。

◎2013年

- 4/19 塩屋隆男さん(関町北) 創設者塩屋賢一氏の盲導犬1号チャンピオから55年「アイメイト協会」代表理事
4/26 永田砂知子さん(成田) 鉄の創作打楽器「波紋音」演奏家「金子あい平家物語」共演、現代音楽CD海外ブレイク
5/3 森由民さん(境) 日本唯一動物園ライター全国の動物園水族館探訪!最新刊「約束しようキリンのリンリン」
5/10 中西浩三さん(関前) 福祉の会ウォーキング推進役、年間企画で参加者満員!武蔵野市スポーツ指導員
5/17 久住昌之さん(吉祥寺) 人気TVドラマ「孤独なグルメ」原作漫画家 はコミセンでバンド活動も!
5/24 杉崎完夫さん(南町) 市民ボランティアガイド始動、最高齢84歳!得意の英語で外国人もウェルカム
5/31 中村幸子さん(本町) LP6000枚・曲ごと機器使い分け!私語禁止の老舗クラシック鑑賞喫茶パロック店長
6/7 中島将隆・登加奈子さん(境南) 低価格で美味ワインを!脱サラweb通販テイスティングルームストア起業
6/14 LADY,THE BITCH・リン&イッセイ&ハリー 祝☆吉音GP!ノンジャンル、パワフル歌声パフォーマンス
6/21 古田貴志さん(本町) 整体師。被災地やフットサル大会でメディカルボランティア「メディカルアース地球屋」院長
6/28 池田正昭さん(本町) 店中央に堆肥の山!中道通レストラン「タイヒバン」堆肥で育った肉と野菜は旨さ格別
7/5 中原香織・エリヌスさん(南町) クローバープロジェクト震災復興応援チャリティコンサート東松島&吉祥寺②
7/12 桜井兼二さん(西久保)「第16回むちゅーふれあい祭」実行委員。自然と生命を子供に伝えたい。点火式注目!
7/19 後藤真澄さん(境) 村野友紀さん(中町)初☆女性消防団員誕生(本部付)。後藤さん子育て中、村野さんスキー界から
7/26 レシェク・リビツキさん(北町) ポーランド来日3年半32歳。IT事業とMIA活動と寿司B。桑山秀樹さん(南町)指南役
8/6 橋本竹夫さん(北町) 成蹊学園に音質研究一筋の理系新学園長就任。新たな100年へ経営理念・教育方針は
8/9 板橋ユミ子さん(国分寺) 地域情報を繋いで「広報たまちいき」6月創刊。多摩信金・価値創造事業部・編集長
8/16 長田律子さん(緑町) むさしの市女性史の会誌「国策に絡めとられて」に中島飛行機女子動員実態調査報告
8/23 山本美里さん(本町) 和食レストラン「わるつ」女将。コースメニューも、リゾむ・めろでい・はあもにい...
8/30 三遊亭右左喜さん(緑町) 落語家のもう一つの顔は小出正彦千川小PTA会長。「千川おやじーズ」活動は?
9/6 西宮勲さん(中町) 高校野球審判歴55年審判委員長・功労者表彰!都立国立高校出身・元武蔵野市議 75歳



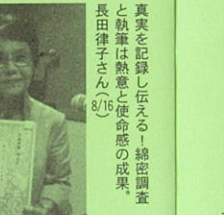
視障者と盲導犬の訓練に三鷹駅や吉祥寺地区は好適地!塩屋隆男さん(4/19)



水曜日の如く幽玄な響きとパワフルを操り、表現世界は無限大!永田砂知子さん(4/26)



趣味も動物園でホッ・ッ。全国からむさしのtodayとレポート中、森由民さん(5/3)



自作曲演奏後ギタリスト室の色紙をサツ、グルメは何処へ?久住昌之さん(5/17)

武蔵野市観光機構「ガイドと歩くツアー」毎回満員大人気!杉崎完夫さん(5/24)

先代マスター手作りアンプと感動と古き良き吉祥寺文化守る夫人、中村幸子さん(5/31)

常に美味しいワインを!素人の視点で選び丁寧に解説。中島・登夫妻(6/7)

キュート・パワフル・知性的、刺激的なバンド名は略称で覚えて!LTB(6/14)

本物の健康ランドをめざす整体院「メディカルアース地球屋」古田貴志さん(6/21)

「ハチ物語」ラストゲーム最後の早慶戦もおなじみ。神山征二郎さん(12/6)

グローバル人材育成・産官学連携でアジア諸国友好発展を。池島政広さん(12/13)

高齢者こそITで便利に!糸井昇一・理絵さん、亀井千晶さん、山崎旭人さん(12/20)

クリスタルガイザー「CMナレーション」演劇ワークショップで復興支援。成田進さん(12/21)

100周年目標、よみがえれ!井の頭池「かいぼり」に張切る。武藤毅さん(1/10)

奥深いパロック!真珠の魅力!オールドジョッキー・修理も。久保田智之さん(12/4)

乳酸菌から有用微生物の楽園へ。凄いい地肥は森の香、都市農業の切札!池田正昭さん(6/28)

大津波から奇跡的に生還された杉本氏講演も志望動機。村野友紀・後藤真澄さん(7/19)

ポーランド語教室大盛況、寿司大好き!レシェクさん、MIAマンツーマン活動で外国人の不安解消。桑山さん(7/26)

雑音を美音に!研究は日常生活に恩恵大、中学・大学院も成蹊育ち。橋本竹夫さん(8/2)

行動のきつかけりと心配り、思わず手に取りたくなる紙面。坂橋由美子さん(8/2)

真実を記録し伝える!綿密調査と執筆は熱意と使命感の成果。長田律子さん(8/16)

趣味は子育て!落語の出前講座好評。三遊亭右左喜こと小出正彦さん(8/30)

優しい歌声一転、素晴らしいバリトンでブルーハワイ弾語り!大村剛士さん(9/13)

ケーブルTV同時放送!ビジュアル狙いチェブラーシカと櫻井雅義さん(9/27)

ファン垂涎!スターウォーズ等身大フィギュアも、水森亜土展開催中。服部早希さん(10/4)

「短歌は心の思いつくまま素直に言葉をつないで」藤井徳子さん(10/25)

得意はビジュアル系ミュージシャン撮影!FM松野こうきゅうファン、田代信子さん(3/14)

ラジオTVショッピングおなじみ吉中味噌醤油4代目から転身!土平哲生さん(3/28)

メディア総なめ弾丸トーク炸裂!夢に向かって挑戦続く、中島央さん(4/4)

スプリングソナタ生演奏!翌日は生徒31人ソロコンサート!下羽恵理子さん・村松二郎さん(4/11)

夢とやる気いっぱい学生さんも勢ぞろい!ファッションで社会を変えたい、鶴田能史さん(4/18)



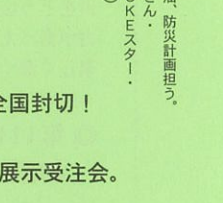
中島飛行機で過酷労働!朝鮮から動員、幼い女子たちの実態報告。梁裕河さん(11/8)



冤罪の理不尽さを夫婦愛の記録に昇華!各地上映会が続く。金聖雄さん(11/22)



警察消防給油、防災計画担当。高橋廣太郎さん(11/27)



奥住建プロ(11/27)

★吉祥寺チャリティライブイベント「フクシマを思うシリーズ」後援：(株)エフエムむさしの 4年目へ! 協力：むさしのFM市民の会

2011年3月11日東日本大震災から3年が経ち4年目。福島第一原発事故「収束」の道のりは長く険しく、避難指示区域への帰還の見通しもまだまだ持てない状況が続いているが、政府はエネルギー基本計画として「原発は重要なベースロード電源」と位置づけ、再稼働を目指し、まるであの原発大惨事がなかったような捉えかたをしている。「フクシマを思うシリーズ」は「忘れない、風化させない」をモットーに福島の人々に心を寄せ、福島とともに生きていく覚悟のチャリティライブイベント(お話・演奏・詩の朗読/金子あい)を3年間で11回開催、今後も吉祥寺光専寺で地道に粘り強く続ける決意である。(鎌内啓子 記)

《2013年度開催報告》

◎ 第9回 6/30 STAR PINE'S CAFÉ

お話：環境ジャーナリスト 田中 優さん

「子どもの未来を創るエネルギー～原発に頼らない社会へ」

朗読：詩集「わが涙汐々 原発にふるさとを追われて」(小島 力)より『帰れない朝』『原発問答』

「詩の磔 起承転転」(和合亮一)より・「みえない雲」より『チェルノブイリの詩』

演奏：アンディ・ベヴァン(Sax,Didjeridoo,etc)クリストファー・ハーディ(Percussion)太田恵資(Vln,voice)

地域での脱原発やりサイクルの運動を出発点に、持続可能な自然エネルギーをどう進めていけばいいのか、「未来を変えるために」私達ができること、具体的な根拠を緻密な数字、客観的な事実に基づいた提案には、目からウロコが落ちる様な説得力があった。参加者からは「田中優さんの具体的な提案がもっと広がればと思う。ちなみに自宅は太陽光パネルを設置して1年になるが、もっと勉強が必要と痛感した」「演奏も今回も素晴らしかった。音楽を聴いて元気になった」の感想。



◎ 第10回 11/12 吉祥寺光専寺

お話：ジャーナリスト 堀 潤さん

「発信者の時代一人一人のメッセージが社会を変える

～福島復興のための発信戦略～

朗読：詩「職歴が止まった日」(原 発子)・「原発問答」(小島 力)・「次に進むために」(双葉町：只野)

演奏：大石 修(チェロ)バッハ「無伴奏チェロ組曲第2番」

元NHKアナウンサーでジャーナリストの堀潤さん。テレビや新聞メディアは果たして真実を伝えているのか？そしてフクシマの声を、私達の声をどう伝えていけばいいのか？NHKを辞める経緯も具体的に語り、メディアの現場や市民ジャーナリズムの大切さの話は、分かりやすく説得力があった。「文化放送で金子さんの原発問答の詩を聴いて雷に打たれた気分。続きを是非聴きたくてやって来た。堀さんのお話は明るく楽しく深く、直接聴けて良かった。素敵で、しかも強い新たな問いかけを含んだ会だった。大石さんのチェロは魂を揺さぶる名演奏！」との声。



◎ 第11回 3/12 吉祥寺光専寺

お話：弁護士 河合弘之

「日本の原発問題の真相～原発訴訟・わたしたちにできること～」

朗読：詩集「荒野に立ちて～わが浪江町」(橋本昌幸)より

演奏：カート&ブルース(箏&尺八デュオ)

これまで20年間各地の原発訴訟に取り組んでこられた経験から、ズバツと日本の原子力村の巨大な利権構造や、50年前から現在に至るまでの原発必要論の変遷に対しての論破をユーモアを交えながら、鮮やかに明快なお話で会場からは爆笑も！「河合さんのお話は大変分かりやすく理解出来た。正直いってまだまだ知らないことがあった。」「金子さんの浪江町の詩を聴き、隣の私は風景などが走馬灯のように浮かんできた。カート&ブルースの演奏も素晴らしく、福島の故郷の雰囲気を出し心に沁みだ」などの感想。



☆防災訓練特番中継レポート報告

◎総合防災訓練 (9/1AM)

武蔵野赤十字病院でのトリアージ訓練では「けが人役」ボランティアはそれぞれの役になりきり渾身の演技で訓練に参加していた。テントエリアでは、災害に備えた情報の説明に熱心に聞入り、体験型訓練も自主的に参加する姿があり、市報を見て参加した家族連れが思いのほか多くいた。実際に熱中症に罹る方が出るとの酷暑だったが、自衛隊カレーが人気！会場FMブースでパーソナリティーとのQ&Aという初めての形のレポートに協力した。(担当：小餅・島津)

◎防災ボランティア訓練(1/18AM)

厳寒の朝「武蔵野市民文化会館」楽屋搬入口で初の「災害ボランティアセンター」屋外設置は、建物が被災し使えない想定。VCM中心に受入れ体制が整うと、市内全域のボランティアがどっと集合！中高校に混じり藤村中学生の参加が心強い。予め資格や特技を登録、希望ボランティアマッチングの上、指定場所へ向かう。ニーズは瓦礫処理・掃除・炊出し等シミュレーションだが、自分にできそうな仕事がない方の困惑ぶりに真剣さが伝わってきた。FM宮原アナ・石塚社員と交代で数回レポート。(担当：松岡)

◎帰宅困難者対策訓練(3/11PM)

吉祥寺駅前集合、帰宅困難者役として指定された一時滞在施設の公会堂まで駅周辺を移動。今回配付された「施設利用カード」は、慣れない帰宅困難者も施設の場所がわかり、混乱が少し解消される効果が期待できそうだ。集合場所と公会堂までの様子、会堂内で市長講演などレポート。(担当：小餅)

On Air オン・エア — むさしのFM市民の会だより —

Vol.24(2014年5月発行)

代 表：松岡 裕子

編集・発行：むさしのFM市民の会 運営委員会

事 務 局：〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 3-7-2 中村方 TEL/FAX 0422-44-4719

題字・表紙デザイン：松岡 裕子

運営委員：皆藤 弥峰 金子 公彦 鎌内 啓子 小餅 友子 島津 好江 土田 萬里子 中村 茂美 藤川 千草 星野 高明